

岡山大学病院が ハノイ循環器センターと友好協定締結

(2010.4.13)

岡山大学病院はベトナムのハノイ循環器センターと友好協定を結びました。心臓外科など高度な先進医療についての共同研究や情報交換、教員や学生の交流を進め、両国の文化や科学の進歩と、友好関係の強化に寄与していきます。

同センターは、ベトナム最大の外科病院・ベトナム・ダック大学病院を母体に、同国政府が直接設立した初の循環器センター。友好協定は、心臓血管外科の佐野俊二教授らが同センターのタン所長（当時ベトナム・ダック大学准教授）と先天性心疾患などについて情報交換、および同国で講演や助言、実技指導を行ってきた縁で実現しました。

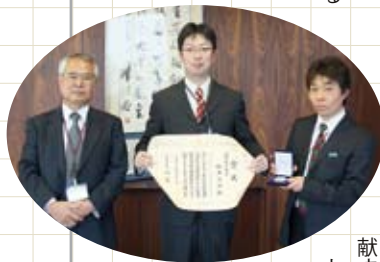
岡山大学病院は同センターで、心臓外科や麻酔技術についての講演や



実技指導を継続して行い、同センターからは臨床実習生を受け入れます。また、心臓外科、小児循環器麻酔といった関連診療科の医師や看護師、人工心肺技師の相互交流も進めていきます。

坂本浩隆准教授が 文部科学大臣表彰若手科学者賞

平成22年度文部科学大臣表彰の若手科学者賞に、大学院自然科学研究科・理学部附属牛窓臨海実験所の坂本浩隆准教授が選ばれました。高度な研究開発能力がある」と認められた若手研究者を対象とする賞で、今年度は85人が受賞しました。坂本准教授は、脊髄内の神経ホルモンの一種が、雄の性機能を制御していることを発見



▲右から坂本牛窓臨海実験所長・坂本浩隆准教授、千葉学長

し、心理的ストレスによる男性の性功能障害との関係も解明。性功能障害の治療法開発にも貢献する革新的な研究として高く評価されました。

全国初の「教師教育開発センター」設置

(2010.4.22)

質の高い教員養成を目指す全学センター「教師教育開発センター」を開設しました。総合大学が学部を超えて教員養成に取り組むのは全国初となります。同センターは、教育学部をはじめ文、理学部など教職資格を取得できる計8字部の教職課程の開発や教育実習を企画・運営。これまで教育学部が開発してきた教員養成プログラムを他学部生にも提供し、大学全体の教員養成の質を保證する取り組みを進めます。教師経験者が論文の添削や悩み相談などに応じる「教職相談室」の運営や、地元教育委員会との連携、学生のボランティア活動も推進します。



4月22日に行われた開所式では、徳永保文部科学省高等教育局長が「これからの教員養成と岡山大学への期待」と題して記念講演し、「教育委員会、学校現場と連携を密にして、より実践的な教員養成に努めてほしい」と話しました。

岡山県と寄付講座 「地域医療人材育成講座」の 設置協定を締結

(2010.4.27)



▲岡山県提供

医歯薬学総合研究科に岡山県による寄付講座「地域医療人材育成講座」を設ける協定を岡山県と締結しました。寄付講座は、県北部を中心とした深刻な医師不足の解消のため、今年5月から2013年度末までの4年間、教授2名を配置して開設。県内の地域医療を担う総合的な診療能力を身に付けた医師を育成し、地域医療の充実や医師確保についての教育研究、地域診療の支援に取り組みます。岡山県地域医療再生計画にも盛り込まれており、地域診療の現場や行政と連携しながら、適切な医療提供体制の構築を目指します。本学の自治体からの寄付講座は、岡山市による「地域医療学講座」（今年4月開設）に次いで2件目となります。

新作ミルクレープなど 「大学は美味しい!!」フェア（東京）で販売 (2010.6.2~8)

新宿高島屋（東京）で全国の大学の産品を集めて開かれた「第3回小学館『大学は美味しい!!』フェア」に出品し、新作ケーキ「もっちりOKA DAIミルクレープ」などを販売しました。

ミルクレープは、クレープと果物やクリームなどを交互に重ねたケーキ。今回の新作は、農学部で栽培した米「岡大ライス」の米粉と、岡山大学発ベンチャー「のぞみふぁーむ」産のイチゴ「女峰」を使っています。米粉入りクレープのもっちりとした食感が特徴。岡山市内のカフェが製造しました。

フェアでは、ミルクレープ



のほか、岡大ブランドの酒・「おお岡大」シリーズ3種（本醸造、純米吟醸、梅酒）、「岡大クッキー」、農学部産のトマトとミルクレープにも使っているイチゴを販売し、いずれも好評を博しました。

分子イメージング分野の 教育・研究で理研と協定 (2010.5.11)



医歯薬学総合研究科と独立行政法人理化学研究所（理研）は生体にダメージを与えずに内部の分子の動きを観察できる「分子イメージング科学」の教育・研究について協定を締結しました。新薬創出につながる研究と、高度な技術を持った人材の育成に連携して取り組みます。

同研究科と理研神戸研究所分子イメージング科学研究センターが協力し、同研究科に連携大学院を設置。理研の研究者を客員教員に招き、来年度にも講座を開設します。鹿田キャンパスに今年度中に整備される分子イメージング研究の最先端設備を活用し、革新的技術の創出や、国際的に活躍できる人材の育成、両機関の人材交流を目指します。

この協定は、薬学だけでなく、歯学や全医学分野を網羅した全国でも類を見ない先駆的な取り組みです。

新施設オープン

福居留学生宿舎が竣工 (2010.3.18)



福居留学生宿舎が竣工しました。留学生に対する住環境支援の充実のため、かねてより整備中だったものです。これにより、本学の留学生宿舎は2棟となりました。

一部、日本学生支援機構の補助を受け、本学職員宿舎を改修して完成したもので、居室21室、管理人室、談話室などで構成されています。キャンパスから徒歩数分の好立地で、各居室には机、ベッド、ミニキッチン、バス、トイレなどが備わり、留学生に安価で快適な勉強環境と住環境を提供することが可能となっています。

鹿田キャンパス学生食堂が リニューアル (2010.4.12)



鹿田キャンパス医学部記念会館1階の学生食堂がリニューアルオープンしました。

鹿田キャンパスでも津島キャンパスと同等の福利厚生サービスを受けたという学生の要望に応じ、アメニティゾーン機能の向上のため、従来の学生食堂などを一体的に整備してリニューアルしました。

鹿田キャンパスでも津島キャンパスと同じメニューを用意しています。コーヒータンブラムもあり、食事時だけでなく、休憩時間でも利用できるようになっています。今後、利用客の要望に応じて、さまざまなメニューを用意する予定です。

席数は約200席で、津島キャンパスと同じメニューを用意しています。コーヒータンブラムもあり、食事時だけでなく、休憩時間でも利用できるようになっています。今後、利用客の要望に応じて、さまざまなメニューを用意する予定です。

開講期間中の営業時間

月～金	8:00～20:00
土曜日	11:00～14:00

*休講中の営業時間は別途ご案内します。
*日祝日は閉店です。

OPEN

「キャンパスの父」

キャンパス
COLUMN 探訪
02



図書館前の広場に、時計台を背にして胸像が立つ。黒止巖先生（1893～1949）。旧制第六高等学校の校長で、進駐軍の引き上げ時に、旧陸軍跡地の土地25万坪と建物5万坪を確保した。

貢献を記念し、1961（昭和36）年に像を設立。翌年から各学部の最優秀卒業生に「黒止賞」が贈られてきた。だが、授与式への出席は関係者のみ。胸像も草木に埋もれ、先生は学生から遠くなる。

再び光が当たるのは2007年以降。

授与式を卒業式に組み込み、創立60周年の昨年は、像を磨き、周辺を整備した。「大学の伝統を確かめ直し、岡大生としてのつながりを育む象徴になれば」。整備を推進した岡田雅夫理事は話す。

残念ながら、学生の多くはまだ、胸像がだれかも、その功績も知らない。しかし、大学の広さには満足しているようで、「敷地を確保したのは胸像の先生」と伝えると「ありがたいですね」と像を見上げた。そんな岡大生たちを「キャンパスの父」は、きょうも見守っている。